



平

成24年大津町成人式が1月8日、町文化ホールで開かれました。今年、成人を迎えたのは、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた387人です。式は、新成人のこれからの新しい門出を祝うために、多くの催しが行われました。

式の開始前から、会場の前には多くの晴れ姿の新成人が集まりました。新成人たちは、久しぶりの出会いを楽しむように笑顔で話し合い、記念写真を撮り合っていました。

成人式は、新成人で構成される成人式実行委員会が、8月から会議を重ね、内容決定と運営を行いました。委員の皆様は、成人式の案内状送付や司会、上映するビデオの作成など、多岐にわたって活動を行いました。

午後3時から開始された式のオープニングは、新成人である合志俊喜さんによる「大津太鼓」の披露から始まり、家入町長のあいさつを始め、来賓の皆様が、新成人に対する期待を込めたメッセージを送りました。

小原彩香さんによる「交通安全宣言」と井上大雅さんによる「二十歳の誓い」は、それぞれ大人になった責任と自覚を感じることができました。井上さんは、「僕たちは、東日本大震災後、初めての成人です。ぼくたちが頑張っていくことが大切です」と話しました。

その後、ステージには、中学生のときの恩師が登場。「大人になっていくことは、エネルギーが無くなっていくことでもある。『負けないぞ!』と自信も持って頑張ってください!」と親が一番喜んでくれている。少しずつでも良いので恩返しをしてあげてください!」など素晴らしい言葉を新成人に贈りました。

実行委員会が制作したビデオ上映では、司会の古澤郁さんが生歌を披露するなど、楽しい企画もあった成人式。全員が大人になることの責任と幸せを実感した素晴らしい式でした。閉式後、新成人たちは、旧友と語り合っていました。それは、この時間がいつまでも続いてほしいと願っているようにも見えました。

その後、ステージには、中学生のときの恩師が登場。「大人になっていくことは、エネルギーが無くなっていくことでもある。『負けないぞ!』と自信も持って頑張ってください!」と親が一番喜んでくれている。少しずつでも良いので恩返しをしてあげてください!」など素晴らしい言葉を新成人に贈りました。

新たな旅立ちは、 新しい夢の始まりー。 大津町成人式



河津美砂さん

かわづ・みさ (大津)
成人式実行委員会 委員長

つらいときこそ笑顔で、
それが幸せになる秘訣です

「笑顔をみるとうれしい。感謝されることがうれしいんです」と語るのは、成人式実行委員会長の河津美砂さん。実行委員会の募集が始まるとすぐ応募したそうです。いろんなことを自分で企画することが好きな河津さんは、自分たちの成人式を自分で作ってみたいと話します。

「人に任せて文句をいうよりは、自分でやって納得したいと思ったんです」と話す河津さんが目指した成人式が「みんなが笑えるような成人式」でした。劇をしてみようと思う人も練習する時間も無い。その時に古澤さんが歌がうまいことに注目し、ビデオ上映のときに歌を披露してもらうことに。

その他、合志さんの太鼓披露や井上さんのリハーサルにないアドリブなどもあり、笑顔があふれる成人式になりました。

河津さんは「言ったことを最後までやり遂げる『有言実行』を目指します」と二十歳の自分と約束をしました。結果はともかく頑張るだけだった学生時代。しかし大人になるとそれでは駄目だと話します。結果を出してこそ、大人の仲間入りだと考えます。

大人になることで気を付けたいことは、と尋ねると「『つらいときでも笑う』ことです。笑いながら怒ることはできません。笑えば幸せになりますから」と話す河津さんはずっと笑顔でした。

